

さくら便り

Sakura Letters Vol.27

発行責任者：櫻 裕子

Sakura
Hiroko

いつもご支援いただき、誠にありがとうございます。この度、私の日頃の議会活動をまとめた市政報告書「さくら便り 27号」を発行いたしました。ご高覧いただければ幸甚に存じます。今後とも、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年度の会派予算要望提出

下記の重点要望のほか、394におよぶ内容をまとめ、所属会派「盛友会」を代表し、谷藤市長に提出させていただきました。われわれ議員の要望は身近にいる市民の皆さんとの声そのものであります。ひとつでも多くの要望が実現するよう、引き続き様々な機会を通じ提言してまいります。



◎重点的要望

- 新型コロナウィルス感染症への万全の対応と、市内経済への支援拡充を図られたい。
- 新市庁舎建設スケジュールを早期に策定されたい。
- 新市建設計画は地域住民へ丁寧な説明の上、早急に完了されたい。
- 障がい者及び高齢者に対する生活支援事業を拡充促進されたい。
- 子ども・子育て支援施策を充実されたい。
- 医療的ケア児支援法の施行を踏まえ、相談支援体制の構築など関係者から出されている要望の実現に取り組まれたい。
- 中心市街地活性化対策や岩手医科大学付属病院の跡地活用について早期に示されたい。
- 盛岡広域圏における連携中枢都市圏ビジョンについては、関係7市町と緊密に連携し積極的に推進されたい。
- 地球温暖化対策をはじめSDGsに積極的に取組まれたい。
- 盛岡市への移住定住施策を積極的に推進されたい。
- 市職員のコンプライアンス意識の醸成、信頼回復に向けたこれまでの取り組みを検証され、再発防止の具体策を提示されたい。
- 盛岡の伝統文化を継承するためにも盛岡秋まつり山車に対する支援拡充を図られたい。

桜のふれあい活動報告

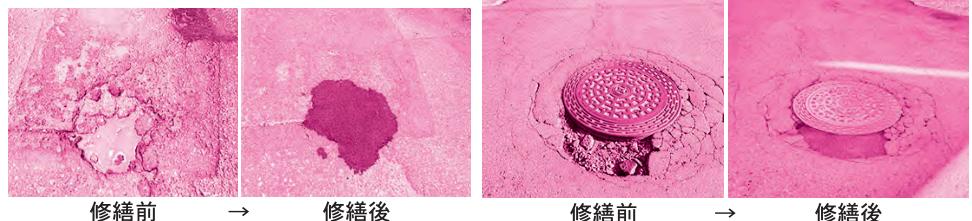
新型コロナウィルス感染症の蔓延により、ここ数年地域においても行事等の開催が激減し、直接市民の皆さんのお声を聞く機会も減ったことから、ふれあい活動と称して地域を回っております。

✿寄せられた要望ランキング✿

- 1位 道路の穴ぼこ修繕
- 2位 側溝の補修や詰まり
- 3位 除雪に関するもの



その他、放置された空き家の管理、道路の見通しを悪くする植栽の処理、風致地区内の建築等の規制に対する要望、市営新庄墓園の管理など多数。



○今夏に回った際には、盛岡体育館のトイレ洋式化ならびに経年劣化による水飲み場などの施設修繕に関するご意見をいただきました。

この要望は来年度の会派予算要望として市に提出させていただきました。

盛岡体育館は、平成8年の全面改装から26年となる建物ですが、未だ和式のトイレのみという階もあるほか、使用中止の水飲み場も数多くあり、さまざまな部分の施設修繕が行き届いていない状況です。修繕計画を確認しながらではありますが、来年度の予算要望に加え、一日も早い復旧と改善を求めて行きたいと思います。



いただく要望に関しては、どうしても対応できかねるものもありますが、どうすればできるかを一生懸命考え、改善に向け取り組んでまいりますので、私の姿を見かけた際はどうぞお気軽にお声をおかけください！

「盛岡市郷土伝統芸能の継承発展及び担い手育成に関する条例」制定

市議会有志による政策勉強会を経て、今年9月の定例会に議員発議案を提出し、全会一致で可決されました。

▶9月定例会において、条例発議案に対する提案理由を説明しました。

《制定までの経緯》

○昨今のコロナ禍により浮かび上がった市政課題は
様々ありますが、特に郷土伝統芸能の継承及び
後継者の育成に当たっては、コロナ禍による活
動機会の減少で、深刻な後継者不足に直面して
います。

○これにより、郷土伝統芸能の存続自体が危ぶまれている状況であることから、次代を担う人づくりを推し進めることが極めて重要と考え、盛岡市議会の1期生から3期生の有志でさんさ踊り事務局や盛岡芸妓などの関係団体や、市の所管部署との意見交換を通じ、現状と課題の把握や分析を行いました。

○その結果、郷土伝統芸能の継承発展と、それを担う人づくりに積極的に取り組むことは、地域の繋がりの再構築と地域活性化、シビックプライド(まちへの誇りや愛着)の醸成など、盛岡を将来にわたり希望と活力に満ちた魅力あふれるまちとすることが期待できることから、現在部ごとに行われている取り組みを、部局横断的な取り組みとするための条例の策定が必要であるという結論に達し、「盛岡市郷土伝統芸能の継承発展及び担い手育成条例」と名称を定め、提案に至りました。

＊議員として条例を作ることができたのは何よりも喜ばしいことではあります
が、条例制定自体が最終目標ではなく、盛岡市の発展につなげるためにこの
条例をどう活用していくかが今後の課題であると考えています。



4. 条例のポイント

条文は次の内容をポイントとして策定することとした。
1. 存続自体が危ぶまれている「郷土伝統芸能」の継承
及び「後継者育成」の強化につながる内容とする。

- ◆「歴史的実験室」の実況、「遺伝子測定」の結果などより、**遺傳学能率**

 - 「遺伝子測定」では、遺伝子構造の違いによる遺伝子表現量の変化を利用して、ある性状の遺伝子を特定する方法。
 - 「遺伝子」の中に記入してある「遺伝情報」を「遺伝子情報」といって、遺伝情報をもつて生物の性質や行動、遺伝子の活性化程度などを測る、人が便利に利用できるのが遺伝子測定です(詳しくは自分で調べてください)。
 - 遺伝子測定の結果から、遺伝子の構造、活性度、活性化部位などを測る方法です(遺伝子測定の結果を詳しくは自分で調べてください)。
 - 「遺伝子能率」
 - 遺伝子能率は、遺伝子測定の結果から得られる遺伝子の構成などを測る方法です(遺伝子能率の結果を詳しくは自分で調べてください)。

4. 条例のポイント

2. 觀光資源としての地位を確立している郷土芸能やお祭りについても、その訴求力をより一層高めるとともに、「必要な施設の整備（常設公園施設）」や「地域活性化」につながる内容とする。

3. キーポイント

「都易橫斷」、「市民協奏」、「財政支援」



▲盛岡市ホームページより抜粋



元本ページ

一般質問などで提案し続けた内容が実施されることになりました！

令和5年4月1日より盛岡地域でも
「スプレー缶・カセットボンベは穴あけせず排出できるようになります」
(これにより玉山地区、都南地区を含む市内全域で同じ排出方法となります。)

✿平成30年の暮れに札幌で起きたスプレー缶ガス引火事故を受け、翌平成31年の3月定例会で一般質問として取り上げて以降、様々な場面で収集方法の変更を訴え続けてきました。スプレー缶やカセットボンベはこれまで穴を開けないまま出された違反ごみが月に1万本もあり、その都度リサイクルセンターの職員が手作業で穴を開けているという状態でした。違反ごみが原因で市のごみ処理施設で大きな爆発事故が発生することもあり、早急な対応が求められていただけに今回の見直しに安堵しました。

〈可燃ごみの日と同じで週2回収集されます〉

通園バス送迎の安全管理について

- 市内の保育園(認定こども園10園)を対象に10月から12月の期間で調査が行われました。
 - バスへの置き去り防止のためのブザー等安全装置の設置が義務付けられることになりました。(装置設置補助金がバス一台につき20万円計上されます。)

✿今年9月に静岡県で起きた通園バス置き去り死事件を報道で知った時は、胸が張り裂けそうになりました。同様に胸を痛め、二度と同じ事件が起きないようにと願う市民の方から安全管理の徹底に関するお声もいただきました。調査の結果、盛岡市内の対象園において現在重大過失はないという報告があったものの、園内研修が出来ていない園がいくつかあったようです。子供は時に大人が考えないようなことをします。幼い子供たちの命を守るためにも日頃からの想定訓練の徹底が必要と考えます。

桜ひろ子プロフィール

平成23年盛岡市議会議員初当選(現在3期目)

- ・所属会派 盛友会 幹事長
 - ・高松商店会 理事
 - ・認定こども園つみ幼稚園 理事
 - ・岩手県立盛岡第三高等学校
学校運営協議会委員
 - ・岩手県ラジオ体操連盟副会長
 - ・盛岡市図書館協議会委員

